2025年度 授業コード: 23108500

授業科目	*栄養教育論実習				実務家教員担当科目	-					
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	永原 真奈見										
授業概要	<p>管理栄養士は、全てのライフステージ、ライフスタイル、健康状態の人々を対象に、自ら健康管理ができるよう栄養教育を行う必要がある。</p> <p>本実習では、栄養教育論Ⅰ及びⅡで学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントを学修する。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	ICT (Class room) の活用, アクティブラーニング (グループワーク, プレゼンテーション) を含む						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者又は対象集団にあった栄養評価項目を選択し、栄養診断ができる。(DP1-2, DP2-1) 2. 診断に基づき、栄養教育計画を作成し、栄養教育を実施することができる。(DP2-1, DP4-1, DP4-2) 3. 栄養教育効果を高めるためのプレゼンテーションスキルを修得する。(DP2-1, DP3-1) 4. 対象者の発達段階や場に応じたコミュニケーションスキルを修得する。(DP1-1, DP5-1) 5. 実施した栄養教育を適切に評価し、改善につなげることができる。(DP2-1, DP4-2) 										
理想的レベル	標準的レベル1～5の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1)										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合 (数値)			備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)		50									
レポート外の提出物		50									
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	-
学習課題 (予習・復習)										1回の目安時間 (時間)	
予習: 各回のテーマについて予習し、まとめる。										4	
復習: 実習で学修した事項について整理し、まとめる。											
授業計画											
第1回	<p>テーマ: 実習ガイダンス、栄養教育方法・グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業の進め方について説明する。 ・グループ学習における 6-6 式討議や KJ 法を用いた演習を行う。 										
第2回	テーマ: リーフレット作成										

	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット作成の対象となるライフステージについて、その特徴をとらえ、題材について深く探求する。
第3回	<p>テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(1)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導の実際について学び、対象者のアセスメントを通して、課題を抽出する。
第4回	<p>テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(2)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の課題に基づき、栄養教育計画及びシナリオを作成する。
第5回	<p>テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(3)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導教材を作成し、特定保健指導のロールプレイを行う。
第6回	<p>テーマ：個人栄養教育実施・評価（個人指導(4)）</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第7回	<p>テーマ：個人栄養教育実施・評価（個人指導(5)）</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第8回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育計画（集団指導(1)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導略案について学び、集団における栄養教育計画を立案する。 対象とするライフステージ及び課題を設定し、指導略案を作成する。
第9回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育計画（集団指導(2)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教育計画に基づき、シナリオ及び学習材を作成する。
第10回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育計画（集団指導(3)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教育計画に基づき、シナリオ及び学習材を作成する。
第11回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育計画・実施（集団指導(4)）</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内発表及び評価を行い、改善点を見つける。
第12回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育実施・評価（集団指導(5)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフステージ別栄養教育を実施する。 相互評価を行い、改善点を正しく見極める。
第13回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育実施・評価（集団指導(6)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフステージ別栄養教育を実施する。 相互評価を行い、改善点を正しく見極める。
第14回	<p>テーマ：対象別集団栄養教育改善（集団指導(7)）</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した栄養教育の自己評価及び他者評価を元に、教育計画を改善する。
第15回	<p>テーマ：グループカウンセリングの実際 及び まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> グループカウンセリングの流れとポイントを理解するための演習を行う。 個人及び集団における栄養教育、カウンセリングの重点項目を解説する。
テキスト	<p>国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（監修）：「栄養教育論(改訂第5版)（健康・栄養科学シリーズ）」（南江堂）</p>
参考図書・教材／データベース・	<p>参考図書：日本栄養改善学会 監修 武見ゆかり・赤松利恵 編「栄養教育論 理論と実践」（医歯薬出版株式会社），大山珠美・須永美幸 編著「栄養教育論実習」（光生館），赤松利恵・永井成美 著「栄養カウンセリング論」（化学同人）</p>

雑誌等の 紹介	データベース：厚生労働省ホームページ、文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ、日本栄養士会ホームページ
課題に対するフィードバックの方法	ワークシート等の提出物は、コメントを添えて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>これまでに履修した専門基礎科目及び専門科目（特に栄養教育基礎及び栄養教育論Ⅰ・Ⅱは必須）をしっかり復習し、理解した上で授業に臨む姿勢が必要です。</p> <p>栄養教育は、科学的根拠に基づいたデータや媒体を理解して計画に取り入れ、実施します。図書館やインターネット等で関連情報を入手し、判断する力を養いましょう。また、日常から自分自身の栄養や健康について考え、行動することができるようにしましょう。</p>